

# 要望書

令和3年11月5日  
東京都公立高等学校PTA連合会  
会長 内海 潤

## ①DX（デジタルトランスフォーメーション）化の更なる推進を要望します

都立高校のDX化にも取り組んでくださって、ありがとうございます。生徒たちにとっては一度きりの高校生活を充実したものにするため、コロナ禍の状況に関わらず学びを止めない環境の整備こそ大人の役目だと思います。さて2022年度の新入生から各自1台スマホ端末を自費負担にて購入することが決定しておりますが、別紙の保護者アンケート結果をご覧の通りコロナ禍で職を失うなど経済的に辛い家庭も多く、そのような家庭に対しては是非とも負担軽減策を用意していただけると助かります。また2023年度以降に関しては、希望者全員へスマホ端末を無償貸与できるように予算化していただけますよう、お願いいたします。スマート東京を推進する日本の首都で、都立高校生たちがデジタルデバイドに阻まれてはいけません。生徒へのスマホ端末や各家庭へのwi-fi機器貸与など、生徒たちが家庭の経済状況に左右されず安心して学べる環境を整備していただけるよう、お取り組みくださることを要望します。

## ②PTAの扱いについてガイドラインを設けていただくことを要望します

各都立高校では在校生たちの学習環境を向上させるため、コロナ禍の中においても学校側と連携して各校のPTA役員たちが行事運営のお手伝いなどを中心に日々活動しております。ただ都立高校の中にはPTAに対して保護者控室など活動場所が提供されない高校もあり、学校によってPTAの扱いが著しく異なる状況が一向に解消されず大変困惑しております。学校ごとに個別の事情があることは承知しておりますが、都立高校にはやむを得ない場合を除いて保護者控室を確保することや、PTAが主催する定期的な運営委員会に教職員代表が職務として参加すること等を含むガイドラインを設けて周知していただきたいと思っております。各校のPTA役員たちも緊急事態宣言が発出されている間は例外を除いて学校へ行くことを控えておりましたが、解除後はまた足繁く通うこととなりますので、気持ちよく活動できる環境を整備していただけるよう、お取り組みくださることを要望します。

## ③ヤングケアラーの支援をしていただけるよう要望します

メディアでも取り上げられる機会の増えたヤングケアラーについて、まずは教職員の研修を実施していただきたいと思っております。高校生が介護など家族の面倒を見ながら志望校を目指すことは困難を極めるだけでなく、たとえ合格したとしても諦めざるを得ない実態があることを社会全体で理解する必要があります。その上で、教職員が家庭内の事情に踏み込みづらい状況を鑑み、都立高校各校にスクールソーシャルワーカーを配置して窓口を明確化することをはじめ、いつでも相談できる環境と雰囲気醸成すると共に、福祉分野の支援につないでいく仕組みを早急に構築していただけるよう、お取り組みくださることを要望します。